

## 令和5年度 冬季休業中の生徒心得

兵庫県立伊丹高等学校  
生徒指導部

新型コロナウイルスの収束が見え隠れする中、「日常」を取り戻しながらの令和5年度でしたが、県高生は見事なまでに勉学に部活動に学校行事に取り組んでくれました。県伊祭では過去最多の2400人の入場者を迎え、体育祭でも多くの保護者の方々が来校され、成功に導きました。県高生が、困難に立ち向かい、挑戦する姿は、多くの人に感動を与えています。本当にうれしいことです。

1年生は、県高生活にも慣れてきたことでしょう。類型選択も決まりました。進路希望の決定とその実現ために自らの可能性を広げ、高めるための基礎作りに励んで下さい。

2年生は、修学旅行を思い出深いものに創り上げ、成功させました。いよいよ学校の中核の学年として、3学期を「高校3年生0学期」と位置づけ、勉学や部活動に、自主・自立・自律した生活を送ってください。

3年生は、この県高での高校生活も残すところあと僅かです。最後まで「チーム76回生」として、「県高生活の総仕上げ」に向かって下さい。受験を控え、気持ちの落ち着かない時期ですが、焦ることなく、家族や周囲の方々の応援や協力に感謝して、充実した時間を過ごしてください。

さて、冬休みは新年を迎えるにあたり、自らで1年間をふり返って、自己を見つめると同時に、新たな一年に向けて目標を定め、その決意を固めるよい機会です。

そこで…冬休みを迎える君たちに…今回は…

## ～一番・・・大きな・・・「いし」・・・の話～

「さあ！クイズの時間だ！」

大学のある授業で、教授はそう言って大きなツボを取り出し、教壇に置きました。そして、そのツボに一つ一つ石を詰めていきました。ツボがいっぱいになるまで石を詰めて、教授は学生に聞きました。

「このツボはもう満杯か？」

学生が「はい」と答えました。

「本当に？」

教授はそう言いながら教壇の下からバケツいっぱいの砂利を取り出してツボの中に流し込みました。石と石の間を砂利が埋めていきます。

そして、もう一度聞きました。

「このツボは満杯か？」

ひとりの学生が「多分違う」と答えました。教授は・・・

「そうだ！！」

と笑い、今度は教壇の下から・・・砂の入ったバケツを取り出し、それを石と砂利の隙間に流し込んだあと、3つ目の質問をしました。

「これでこのツボは満杯になったか？」

学生が声をそろえて・・・「いいえ」と答えると、教授は水差しを取り出し、水をツボのふちまでなみなみと注ぎ、その後こう言いました。

「僕が何を言いたいか、わかるか？」

学生が手をあげました。「どんなにスケジュールが詰まっていた忙しい時でも努力すれば予定を詰め込むことが可能ということですか？」

「それは違う」と教授。

「重要なポイントはそこではないんだよ。・・・この例が私たちに示してくれていることは、先に大きな石を入れないと、それが入る余地は、その後二度とこないということだ。

このツボは人生を示している。では、私たちの人生にとって『大きな石』とはなんだろうか？それは仕事であったり、志であったり、愛する人であったり、家族であったり、自分の夢であったりする。つまり『大きな石』とは君たちにとって一番大切なものだ。それを最初に入れなさい。さもないと君たちは、後からでは、それを入れることができなくなり、失うことになる。」

「心にズドン！と響く運命の言葉」 ひすい ことろう（王様文庫）



あなたの人生にとって・・・一番・・・大きな・・・石とは何でしょうか？  
「うーん・・・一番・・・大きな『石』かぁ・・・」・・・『いし』・・・えっ！・・・『意思！』・・・『意志！』  
新しい年を迎えます・・・あなたの人生のツボに・・・最初に入れる・・・『石』・・・『意志』を・・・  
見つけたり、再確認したりする。そんな冬休みにしてくださいね。  
うるさいようですが・・・冬休みの注意事項を載せておきます。

## 冬休みの注意事項

1. 規則正しい生活を心がけること。新型コロナウイルスやインフルエンザへの感染防止（マスクの着用・手洗い・手指の消毒・部屋の換気）など、健康・体調管理に努めること。
2. 違法行為（飲酒、喫煙、窃盗、万引き、無免許運転、薬物）や「三ない運動」違反は特別指導の対象になります。自制心を持ち責任ある行動を心がけましょう。
3. 未成年者（高校生）立ち入り禁止の遊技場に入りしないこと。スマートフォンやインターネット・SNSが原因となる大きな事件発生しています。  
SNSや出会い系サイト、メールなどの誘いには乗らないように、また、君たちがネット上にアップした情報は誰でも見ることができ、完全に削除することはできません。使用には注意を払いましょう。
4. 年末年始は事件も多い時期です。深夜の外出には危険が伴います。防犯には十分留意しましょう。  
→警察からも若年層の「闇バイト」と言われる犯罪・薬物・盗撮などが多発しているので注意するよう連絡が入っています。  
外出時は保護者に行き先、要件、帰宅時間を知らせ、外泊は慎みましょう。
5. アルバイトは禁止です。家庭の事情など、やむを得ない場合は担任の教員に申し出ること。
6. 交通ルールを守り、事故に遭わないように注意を払いましょう。  
もし、事故に遭ってしまった時は、決してその場を立ち去ってはいけません。必ず、・・・  
①けが人の救護（救急車が必要な時は119に電話） ②道路上の危険防止  
③警察への連絡 ④事故状況の確認（相手先の名前・住所・連絡先などを確認）  
⑤学校や保険会社に連絡 をすること
7. 登校した時は、自転車は通常の自転車置き場に止めること。
8. 旅行をする時には旅行届けを提出してください。  
学割の必要な場合は5日以上前に願いを提出してください。  
（12月29日から1月3日まで学校は閉庁しています。）
9. 事故や移動（転居）があれば、担任（学校）へ連絡してください。（Tel 072-782-2065）
10. 休み中でもいろいろな教育機関が様々な相談にのってくれます。以下に記しておきます。

兵庫県警サイバー犯罪対策係 078-341-7441  
(SNSやインターネット上のトラブルなど)

伊丹市立少年愛護センター 072-770-8742

阪神北少年サポートセンター 072-784-7820

ひょうごっこ悩み相談センター 0120-0-78310

(365日・24時間・通話無料・携帯可)

0120-783-111

(平日9時～17時・通話無料・携帯不可)

兵庫県警少年相談室「ヤングトーク」 0120-786-109

LINEやネット上で 相談できる窓口もあります。裏面に載せておきます。